

都城島津伝承館企画展

都城島津家史料の魅力

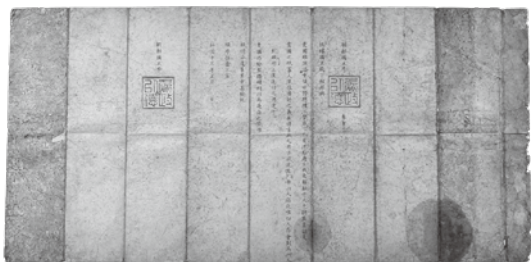
後世に伝える文化財

本市に都城島津家史料が寄贈され間もなく15年、そして、都城島津邸は開館10年を迎えます。節目となる今回の企画展では、都城島津邸が所蔵する国の重要文化財「朝鮮国書」や、県指定文化財「庄内地理志」などを展示。都城島津家史料の重要性や魅力について紹介します。

◎問い合わせ 都城島津邸 ☎23-2116

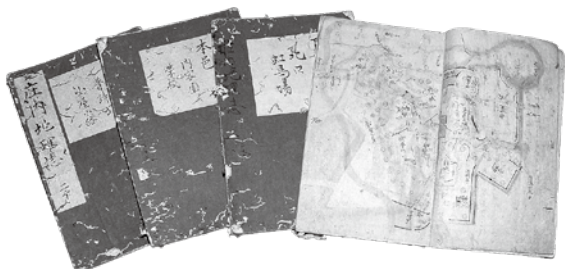
都城島津邸10年の歩みとこれから

都城島津邸は、開館から今日に至るまで、さまざまな特別展や企画展を開催してきました。また、地域博物館として、都城地域と都城島津家の歴史を、南九州地方や九州地方といった枠の中で紹介。併せて、都城島津家と島津本家の関わりを、都城にちなんだ人物と文化に関する史料を用いながら紹



国重要文化財「朝鮮国書」

介し、それらの史料を後世に伝えていくことの重要性を発信してきました。今回の企画展「都城島津家史料の魅力」後世に伝える文化財」では、都城島津邸が収蔵する島津家史料の魅力や、その歴史的価値について、東京大学史料編纂所が所蔵する国宝「島津家文書」にも触れながら、ひもときます。



県指定有形文化財「庄内地理志」

企画展の概要

期間中は展示替えを行います。各史料の展示期間は、都城島津邸ホームページで確認ください。

【展示史料】

●朝鮮国書(国重要文化財)

朝鮮国王から琉球国王へ出された文書。琉球の船が朝鮮で遭難した際、生存者を送還させることが記されています。

●庄内地理志(県指定有形文化財)

都城島津家第22代当主の久倫の時代に編さんが開始。当時の都城地域の風土や歴史などを網羅した百科全書ともいえる史料です。全113巻(現存しているのは103巻)。

●三国筆苑(県指定有形文化財)

島津家重臣などによって書かれた書状や和歌、漢詩を切り取り、厚手の台紙に貼った史料。鑑賞用としてまとめられたものです。



県指定有形文化財「三国筆苑」

●その他の展示史料

緋羅紗地丸に十字紋陣羽織、鉄錆地紺糸威瑠璃齋胴具足(市指定文化財)など



市指定文化財
「鉄錆地紺糸威瑠璃齋胴具足」

【展示期間】

10月6日(日)まで

9時～17時(入館は16時30分まで)

※毎週月曜日休館。月曜日が祝日の場合は、その翌日

場合は、その翌日

【観覧料】(税別)

大人200円(150円)

高校生・大学生150円(100円)

中学生以下無料

※(一)は、20人以上の団体料金。本

宅観覧料は別途、小学生以上

100円

関連イベント(無料)

国宝「島津家文書」や樺山家文書からみる都城島津家史料の魅力などについて、講演会を開催します。

●日時 8月24日(土) 14時～

●場所 コミュニティセンター

●講師 東京大学史料編纂所 助教

小瀬玄士さん

●定員 100人 ※申し込み不要

住み慣れた 地域で 自分らしく

市では、高齢者が自立した日常生活を営むことができる体制づくりを進めています。今回は、住み慣れた自宅や地域での生活を支援する「小規模多機能型居宅介護」を紹介しします。

◎問い合わせ
介護保険課 ☎23-2688

小規模多機能型居宅介護の特徴
1つの事業所で、3つのサービスを組み合わせて利用できます。
また、少人数のグループ制で、家庭的な雰囲気の中でサービスが受けられ、顔なじみのスタッフが24時間・365日対応します。

●料金
介護度に応じた月額定額制

●対象
要支援1・2、要介護1～5



市内の小規模多機能型居宅介護事業所

- ちっちゃなお家みづき(志比田町) ☎46-3550
- 小規模多機能ホーム二休庵いわよし(郡元町) ☎46-4011
- 小規模多機能型居宅介護豊明苑(葦原町) ☎23-3993
- 小規模多機能型居宅介護ほほえみの園ヒストリアI(早鈴町) ☎51-7077
- 小規模多機能型居宅介護ほほえみの園ヒストリアII(高城町桜木) ☎36-5870

利用者の声

「パートナーに、できる限り自宅での生活を続けてほしい」との思いで妻に寄り添い、小規模多機能型居宅介護を利用している齊藤卓治さん(二万城町)に話を聞きました。

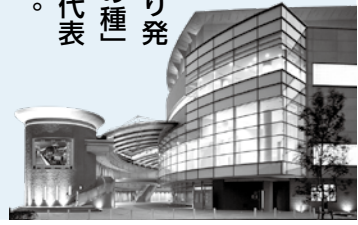


Q 利用して良かったことは
妻の症状が進行し、自宅での介護が難しくなったため、利用を始めた。好きな歌を歌ったり料理をしたりしながら、施設内を笑顔で過ごしていて、安心して預けられます。通いや泊まりなどを組み合わせながら利用できるので、とても便利でありがたいですね。

都城に「文化の種」をまく 総合文化ホール

都城市総合文化ホール(MJ)では、地域の文化を守り発信させながら、未来の都城を担う子どもたちに「文化の種」をまく、さまざまな事業に取り組んでいます。今回は、代表的な自主事業の一つ「MJうた倶楽部kids」を紹介しします。

◎問い合わせ 総合文化ホール ☎23-7140



音楽に親しむ「遊び場」

音楽教育法「リトミック」の要素を取り入れ、体全体を使って音楽を楽しみ、子どもたちの豊かな感性を育むリズムワークショップ「MJうた倶楽部kids」。平成21年の開始以降、その楽しさが口コミで広がり、多くの子どもたちが参加する人気ワークショップになりました。

芽を出し始めた「文化の種」

本ワークショップがきっかけでMJに来館した子どもたちが、他分野の事業にも関心を持ち、再び来館するなど、都城の文化振興のためにまいた「種」は芽を出し始めています。

この種が、やがて花を咲かせるまで、水を絶やすことがないよう、本ワークショップや小・中学校で

実施しているアウトリーチ事業(鑑賞教室)などさまざまな事業に取り組みながら、今後も、未来の都城を担う人材の育成を進めていきます。

参加者の声

歌やお遊戯が大好きな長男の興味・関心を伸ばそうと思い、参加。また、長男が楽しそうに踊るのを見て、次男も参加しました。都城少年少女合唱団が笑顔で教えてくれ、毎回、とても楽しく過ごしています。



小田さん親子(都原町)
木綿子さん、文翔くん、
弘翔くん(左から)